

第57回 ちいさなコンサート

(毎度 浴びせられる 誹謗・中傷・嘲笑?の嵐も何のその、今年もめげずのトチ狂いライブ!)

2014年 10月 12日 (日) 12時30分 開場、 13時00分開演

神戸学生青年センター 大ホール

神戸市灘区山田町 3 - 1 - 1 TEL 078-851-2760
(阪急電車 神戸線「六甲駅」下車 山側を北50m、路地を右へ50m、十字路を北へ20m、左側)

入場無料!! そうです、「ちいさなコンサート」は出演者のボランティアで成り立っているのです

主催：ちいさなコンサートの会、 後援：神戸学生青年センター、 協力：出演者 & スタッフ

当日の会場には受付に 東日本大震災 被災児童支援 の義援金募金箱を用意致しますので、
ご協力戴ける方は宜しくお願い致します。今年の義援金は福島県へ届けようと思っています。

「ちいさなコンサート」が、久々に「神戸学生青年センター」に帰ってきましたッ！ 今回はあの日に向かって原点回帰だッ！

ひらたたかしがギターを手に街頭で唄い始めたのは、5月で22歳になろうとする4月の初旬。折しも、東京新宿駅西口の地下、大阪梅田の地下、そして神戸の阪神三宮前地下と、ペ平連(ベトナムに平和を市民連合)等とタッグを組んだフォークゲリラが活動していた頃である。大阪の地下や京都四条の鴨川べりで少し腕ならしたひらたたかしは、5月下旬には神戸に登場、片山哲夫や小山真一と共に、神戸フォークゲリラの中心的メンバーとして活動するようになっていた。しかし、その秋の終わり頃には、機動隊によって三宮地下街から追われた三人は、自らを「フォークもぐら」と称して、神戸ペ平連と共に三宮花時計前で活動したり、兵庫県内の大学や高校等への出前歌活動を始めるようになっていった。今から45年ほど前のことである。その後、自分の唄いたい気持ちをそのまま終わらせたくないとの思いから、一人 三宮センター街東入口に立って唄い始めたひらたたかしは、それと並行して、定期的な唄う場としての空間「ちいさなコンサート」をスタートさせることとなった。その記念すべき第1回は、長田の大正筋商店街にある喫茶店で、音響機器など全くない生演奏のもと、数人の来場者を相手とするものだった。第2回目からは、ここ「神戸学生青年センター」に場を移して、年に2~4回開催するようになった。途中からは音響機器も使用されるようになり、「神戸学生青年センター」での活動は5年余り続いた。その後「ちいさなコンサート」はあちこちと会場を移しながら、ひらたたかしが45歳になる頃まで続けられたが、いろんな意味から一度中断されることとなった。この間には、大切な歌仲間の山崎泰三や車谷正人がこの世を去り、自身も会社を転々と変わるなど様々なことを経て、ひらたたかしが60歳となった9月、「ちいさなコンサート」は復活されることとなった。以来、年に1度のペースで10月の第2日曜日をその開催日としている。そして、「ちいさなコンサート」は、約40年振りに、そのスタートの地、ここ「神戸学生青年センター」へと戻って来たのだ。この間、いろいろな場で唄い続けてきたひらたたかしが、ギター片手に唄い始めた頃の自分への回帰の思いと、重ねた人生のヒダの意味を、見つめ直したかったからに他ならない。67歳半ばにさしかかった今、人生のカウントダウンを迎えた中で、ひらたたかしは、一体何を如何に生きようとし、何処へ行こうとしているのか、そして、何に向かって、何のために唄い続けているのかと……

- 【出演】
- ・ひらた たかし
このイベントの陰謀者、大声でのガ鳴り唄しか能はない、ヒョットしたら東灘の山口啓介や須磨のゴンちゃんの応演が入るかも……
 - ・松田 才蔵
昔、交通事故に遭い、死への一本道から奇跡の生還、今回も奈良は桜井からヒーコラの登場、生きてるかどうかわかん歌と演奏？
 - ・みつばち 一ず
名ギタリスト マチャルと笛吹きトモちゃんが1年前より数段は上達？した筈の演奏を披露するんじゃと、イキ巻くっての挑戦状を……
 - ・あかりとばり
アレンジ民謡をメインに三味線とギターで勝負とばかりに「ちいさなコンサート」に初参戦ひらたたかしをタッチメントと手ぐすね引いて……

【打上げ会へのご案内】

コンサート終了後、「打上げ会」を行います。場所はコンサート会場から徒歩15分弱の「フォロ・ロマーノ」と、17時30分～です。コンサートの延長線となる「ランダムLIVE」もありますので、こちらにもコソツテの参加を。ヒョットしてヒロ君こと山内裕之クンの飛び入りライブなんかもあるかも知れませんよ。会費は大人1500円、中・高生1000円、小学生以下無料。打上げ会のみ参加もOKです。(参加受付は当日コンサート会場か☎にての予約受付)

